

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱倉庫神戸支店西神配送センター	階数	地上4階
建設地	神戸市須磨区弥栄台四丁目4-1、4	構造	RC造
用途地域	準工業地域(流通業務地区)	平均居住人員	1,295 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,飲食店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2018年8月6日
敷地面積	55,919 m ²	作成者	大林組 吉本正樹
建築面積	14,500 m ²	確認日	
延床面積	56,980 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.4 Q-2/2.4 信頼性 3.0	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
<p>配慮の概要</p> <p>バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>大地震時の構造安全性を確保するため基礎免震構造を採用する。 構造種別は柱・鉄筋コンクリート造・梁・鉄骨造とする。免震材は、建物外周に天然ゴム系積層ゴム支承、変動軸力の小さい建物中心部に弾性すべり支承(低摩擦)、減衰力を付加するためにオイルダンパーを用いる。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>1期計画を踏襲し、道路境界から3m以上離して建築物を配置することで、歩道部分と敷地との一体感を感じられる計画とした。また、敷地外周部や駐車場と建物との間に緑地を設け、周辺との連続性を感じられる計画とした。建物の正面となる南側の立面は中央部分で壁面を後退させて分節し、ボリューム感の低減を図るとともに、南側低層部では外装を使い分け、変化</p>
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される